



あり、改めて地域企業の様々な課題やニーズに対応する支援体制を強化してまいりたいと考えています。当会議所には、中小企業相談所のほか、「事業引き継ぎ支援センター」、「中小企業再生支援協議会」、「経営改善支援センター」、「よろず支援拠点」など、創業から廃業まで企業の全ステージに対応する相談窓口があり、これだけの体制を整えている商工会議所は全国でも静岡だけです。これらをもっとアピールして、地域企業の皆様に活用いただきたいと思っています。

また、今年度から事務局に就職支援課を設置しており、「ジョブ・カードセンター」や「プロフェッショナル人材戦略拠点」とともに、地域企業の人材確保支援に注力してまいります。

「地域づくり」におきましては、都市の魅力向上と賑わいあるまちづくりを推進しております。

静岡地区はコンパクトシティが形成された商業のまちであり、今後はさらに集約して吸引力を高めていく必要があります。また、歴史文化のまちづくりとして、家康公顕彰事業に加えて聖三國師など多くの歴史資源を活用してまいります。

清水地区は国際物流と工業のまちであり、清水港を中心としたまちづくりが進められているところです。江尻・日の出・折戸・三保地区の機能分担を進めるとともに、特に日の出地区の海洋文化拠点づくりに力を入れてまいります。

そして、静岡・清水の更なる交流を図り、両地区が一体となってそれぞれの特性を活かした魅力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。

また全国的に人口減少が進み、どこの市町でも観光振興により活性化を図る地域間競争が激化しています。自治体の政策はその市町に限定した内容になりますが、観光客にとって自治体の境界は関係ありません。当会議所が自治体間の橋渡しをする「横串役」となり、当地域の交流人口の拡大に向けて取り組んでまいります。

「基盤づくり」におきましては、一人でも多くの会員の皆様に当会議所を利用いただき、会員メリットを享受いただけるよう会議所事業の周知を徹底するとともに、会員の皆様の声を集め提言要望活動の充実強化を図ってまいります。

そして、来年度からスタートする第3次中期行動計画では、これまでの「企業づくり」「地域づくり」「基盤づくり」に「人づくり」というテーマを加えたいと考えています。

「人づくり」として、これからの地域経済の発展を担う会員企業の人材育成の支援や、まちの魅力向上など地域のために活動する人材を育てる環境づくり、それらをサポートする事務局職員の資質向上に取り組んでまいりたいと思います。

当会議所役職員が一丸となり、行政機関や関係諸団体の皆様、そして何より13,000の会員の皆様とともに、文字通りオール静岡で当地域の活性化に取り組んでまいり所存でございます。

結びに、会員の皆様には、二層のご支援とご協力をお願い申し上げます。会頭就任のご挨拶とさせていただきます。